

戸塚 哲夫 議員

営農型太陽光発電の現状と課題は

問 市内の営農型太陽光発電の設置状況は。

答 平成26年度から本年8月までの6年間で20件。袋井地区が14件、設置面積が3.8ヘクタール、浅羽地区が6件、設置面積が2.4ヘクタールとなっていて、少しずつ増加傾向である。

問 荒廃農地の再生や農業経営の改善に役立った例はあるか。

答 浅羽南地区の0.1ヘクタールの畑でブルーベリーを栽培するなど市内8件、1.2ヘクタールの荒廃農地が再生された。また、三川地区の茶園0.1ヘクタールでは、日照を遮ることで質のよいお茶、かぶせ茶の収穫ができて、経営の改善につながっている。

寺田 守 議員

久野城址の利活用

問 本丸からの眺望など久野城址の魅力を高めるための整備を今後どのようにしていくか。

答 頂上の本丸から市街地を見渡すことができることから袋井市景観条例に基づき、眺望地点に登録されている。この景観を生かすことができるよう、今後木々の伐採などの管理に努めていきたい。

問 久野城址公園の利活用についてどう考えるか。

答 文化財保護法が改正され、文化財に対する考え方もこれまでの保護中心から活用へと変わってきている。久野城址保存会や地元自治会の方々のご意見を聞きながら、県内外の先進的な事例の情報収集、研究をしている。

ベトナム学生の研修

問 ベトナム各県から選抜された学生18人が本市を訪れ研修していた。今後の支援はどうか。

答 ベトナムの青少年が貴重な海外研修において本市に滞在することは本市にとっても大変意義があることである。国際交流協会の事業の一環として、市を代表して受ける体制はしっかりさせていきたい。



マイナンバーカード（見本）



久野城址公園でのグランドゴルフ